

保証書

保証期間	1年間
お買い上げ日	平成 年 月 日

お客様	ご芳名	様
	〒 □□□-□□□□	
	ご住所	
TEL		

販売店	店名・住所
-----	-------

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

- (1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- (2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。
- (3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿った訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。
※ご注意 本保証書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の適用除外

- (1) 本保証書及び納品書又は領収書のご提示が無い場合。
 - (2) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
 - (3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
 - (4) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損害が生じた場合。
 - (6) 本製品の製造上に起因した欠陥であることを確認できない場合。
 - (7) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
- ※ 上記項目については有償修理になります。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148
TEL 042(543)3111(代表)



お問い合わせ先

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付け下さい。

弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、お買い上げの販売店又は弊社お客様相談室にお問い合わせ下さい。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く

フランスベッド株式会社

〒196-0022
東京都昭島市中神町 1148

Reha tech
シルバーカー

品名

ラクティブ

R·active M タイプ

取扱説明書

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管して下さい。

990950-8900

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。手すり等の固定されたものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人などには適しません。必要に応じて専門家等（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し、使用に適しているかどうかを確認のうえ、購入されることをお勧めします。

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、充分にご理解の上、ご使用下さい。製品に関してご不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入店もしくはお客様相談室へご連絡下さい。



フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。

ご使用前の注意		2 P
ご使用上の注意		2～3 P
お手入れ方法		3 P
保管方法		4 P
各部の名称と製品仕様		4 P
車体の組み立て方・折りたたみ方		5 P
ハンドル高さの調節方法		6 P
キャスターの使用方法		6 P
ブレーキの使用方法		7 P
駐車ストッパーの使用方法		7 P
座面の使用方法		8 P
杖立ての使用方法		8 P
ブレーキの調整方法		9 P
ストッパーの調整方法		9 P
SG マークについて		10 P
保証書		11 P
お問い合わせ先		11 P

- 本書記載に使用しております画像は実際の製品とはデザイン等において異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。



シルバーカー

**SGマークが表示されたシルバーカー
は安心してお使いいただけます。**

SGマークが表示されたシルバーカーは安心してお使いになれますが、万一、消費者の皆様が正常に使用していた時に、製品の欠陥による事故が発生し人身の損害を被った場合には『製品安全協会』がその損害を賠償いたします。

※但し、保証期間は購入後3カ年です。

■賠償についてのご注意

生産物賠償責任保険はご購入のシルバーカーそのものが故障しても、その品質について保障するというものではありません。

その製品の欠陥に基づいて発生した事故による人身の損害に対する対人賠償制度です。

■事故の連絡について

事故が発生した日から60日以内に下記にご連絡下さい。

一般財団法人 製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL. 03-5808-3300（代表）

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社お客様相談室へご連絡下さい。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡し下さい。

ブレーキの調整方法

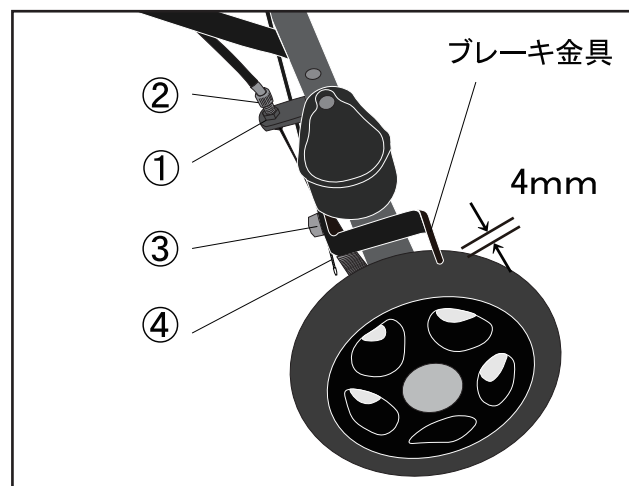
- ブレーキ金具と車輪のすき間が4mm位になるように調整します。
調整は駐車ストッパーを解除してから行って下さい。

■ すき間を狭める

①をゆるめ②を回して(反時計回り)調整し、②を押さえながら①を締め固定して下さい。

■ すき間を広げる

①をゆるめ②を回して(時計回り)調整し、②を押さえながら①を締め固定して下さい。



■ 上記手順でブレーキ調整ができない場合

③を反時計回りの方向へ回してゆるめ、④をペンチなどで引っ張り、すき間を4mmに調整して下さい。調整が終わったら④が緩まぬよう、③を時計回りの方向へ回して強く締めて下さい。細かな調整については、先に記載した「■すき間を狭める」「■すき間を広げる」を参照して下さい。
※この方法は先に記載した微調整で適切なすき間が作れない場合にのみ行って下さい。

■ ストッパーの調整方法

駐車ストッパーを調整する場合も上記「ブレーキの調整方法」と同様にブレーキ金具と車輪の間が4mm位になるように調整して下さい。
手順はブレーキの調整方法と同じです。

転倒や事故防止のため、下記の事項を必ず守って下さい。

ご使用前の注意

⚠ 警告 下記の場所では絶対に使用しないで下さい。

- バスや電車の中やエスカレーター。
- 雨・雪・凍結などで滑りやすい所。

⚠ 注意 誤った使い方をすると、人が損害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目を必ず守って下さい。

- 加齢等によって、この製品が合わなくなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止して下さい。また、定期的に専門家などにこの製品が適切かどうかを確認して下さい。
- 組み立てる時は周囲に人がいないことを確認して下さい。
- 組み立て及び調節は確実に行って下さい。また指などをはさまないように注意して下さい。
- 各部を点検し、特にブレーキバーと駐車ストッパーの使用時に左右の後輪が確実に固定されること、また解除の際は後輪がスムーズに回転することを確認して下さい。
- ネジなどの緩みがないこと、ハンドルが固定されていることを確認して下さい。
- タイヤ及びブレーキに磨耗が無いかを保守・点検し、必要に応じて交換などをして下さい。交換する場合にはご購入販売店もしくは弊社お客様相談室へ連絡して下さい。
- ご使用の際は、必ずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断して下さい。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 坂道・溝・段差のある所、砂・泥・水溜りのある所を通る場合は十分に注意して下さい。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び夜間での使用は十分に注意して下さい。
- ご使用前に固定用ロックが確実にかかっていることを確認して下さい。固定用ロックがかかっていないと、車体が折りたたまれて危険です。

ご使用上の注意

⚠ 警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目を必ず守って下さい。

- | | |
|------------------|---|
| 歩
行
の
時 | ● ハンドルを片手で操作しないで下さい。 |
| | ● ハンドルに寄りかかると車体だけが前に行き、転倒する恐れがあります。また、ハンドルに荷物を吊り下げるとバランスを崩し危険です。絶対にしないで下さい。 |
| | ● 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので注意して下さい。また段差を斜めに侵入しないで下さい。段差の手前では必ず一旦止まり十分に注意して慎重に段差を越えて下さい。 |

ご使用上の注意

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目を必ず守って下さい。

座面に関して

- 座面を使用する場合は、必ず駐車ストッパーをかけて使用して下さい。また、傾斜地では使用しないで下さい。
- 立ち座りの際は車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと身体を動かして下さい。
- 勢いよく座らないで下さい。車体の変形、破損する恐れがあります。
- 最大使用者体重を必ず守って下さい。(最大使用者体重：80kg)
- 分解・修理は弊社サービス員以外行わないで下さい。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目を必ず守って下さい。

歩行の時

- ブレーキバーを握った状態、及び駐車ストッパーをかけた状態で歩行しないで下さい。
- 車体から離れる時は必ず駐車ストッパーをかけて下さい。また、非常口・消火器・消火栓の前には放置しないで下さい。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違います。制動力を過信しないで下さい。
- 坂道では駐車しないで下さい。坂道では、たとえブレーキをかけても動く場合があります大変危険です。やむを得ず駐車する場合は車体が動かないように十分に注意して下さい。
- 踏切などの溝を越える時は、車輪がはまらないように十分に注意して操作して下さい。
- 座面上に人を乗せたまま移動しないで下さい。



人乗せ走行禁止

座面に関して

- 坂道などの斜面では座らないで下さい。
- 浅く座らないで下さい。
- 踏み台として使用しないで下さい。
- 幼児、子供を座面上に立たせないで下さい。また、操作させないで下さい。

袋に関して

- 袋に3kg以上の重さの荷物を入れないで下さい。
- 袋に荷物を入れたまま折りたたまないで下さい。
- 袋の中に乳幼児を乗せないで下さい。
- 袋の中に貴重品を入れたまま車体から離れないで下さい。

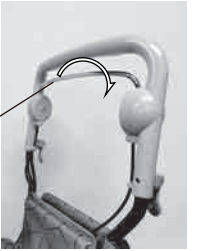
お手入れ方法

- 雨などで濡れた時は、乾いた布で拭き取って下さい。泥やほこりがついた時は、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いて下さい。
- 袋の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かして下さい。
- シンナー・ベンジンなどの揮発性溶剤を使用しないで下さい。

座面の使用方法

1 駐車ストッパーがかかっていることを確認して下さい。(→P7参照)

ブレーキバー(駐車ストッパー)



2 座面を下げます。ハンドルをおさえながら、袋の後ろにある取っ手を持ち上に持ち上げ、前方に倒して下さい。



3 座面の中央にゆっくり座って下さい。



注意

- 必ずストッパーをかけ、左右の後輪が固定されていることを確認してから座面の中央にゆっくり座って下さい。
- ハンドルや、背もたれに力をかけすぎた場合、車体が動いてバランスが崩れる恐れがあります。ご注意下さい。

杖立ての使用方法

- ハンドルに付いている杖固定ベルトで杖を固定し、杖立てで受けて下さい。

杖固定ベルト

杖立て



注意

- 杖が確実に固定されていることを確認して下さい。ぐらつきがあると走行中に外れることがあり危険です。

ブレーキの使用方法

ブレーキバー
(駐車ストッパー)

ハンドル



- [ブレーキバーの使用方法]
ハンドルとブレーキバーを一緒に握るとブレーキがかかります。指を離すと解除されます。
- ブレーキ及び駐車ストッパーのかかり具合の調整方法については、9ページをご覧ください。

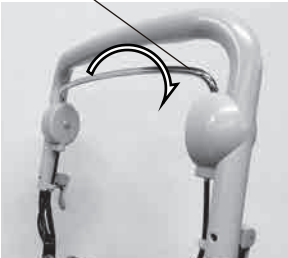


注意

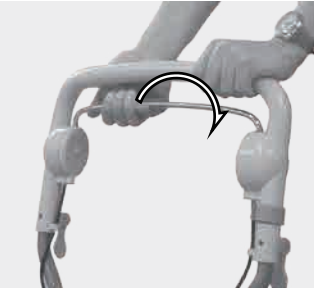
- ブレーキをかける時は、必ず両手でブレーキバーを握って下さい。
- ブレーキは後輪の回転を抑制するものです。濡れた路面や急な坂道ではブレーキをかけてもキャスターが滑ることがありますので、ご注意下さい。
- ブレーキバーとハンドルの間に指などをはさまないように注意して下さい。
- ブレーキバーを握った状態で歩行しないで下さい。

駐車ストッパーの使用方法

ブレーキバー(駐車ストッパー)



- [駐車ストッパーの使用方法]
ブレーキバーを操作者側いっぱいにしてロックして下さい。駐車ストッパーを上にあげるとブレーキが解除されます。



- ハンドルを握り、反対の手で矢印のように引っ張っても、駐車ストッパーをロックすることができます。



注意

- 座面に座る時、車体から離れる場合は必ずストッパーをかけ左右の後輪が固定されていることを確認して下さい。
- 駐車ストッパーをかけた状態で車体を押さないで下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。

保管方法

- 屋内で保管して下さい。また、長期間使用しない時は、汚れを落としてから保管して下さい。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないで下さい。故障や変形の原因となります。

各部の名称と製品仕様



組み立て寸法	幅470×奥行595 ×高さ840～880(mm)	重 量	5.3(kg)
		最大使用者体重	80(kg)
折りたたみ寸法	幅470×奥行300×高さ695(mm)	袋の積載荷重	3(kg)
ハンドル高さ	840～880(mm) 3ポジション	本体材質	アルミ・スチール・樹脂
座面高さ	440(mm)	車輪材質	ポリプロピレン・EVA
座面寸法	幅270×奥行240(mm)	座面・袋材質	ポリエステル(主材)
袋 寸 法	幅280×奥行160×高さ350(mm)	原 産 国	台湾

※折りたたみ寸法、及びハンドル高さは参考数値です。

車体の組み立て方

1 ハンドルを持ち図の様に矢印の方向に起こして下さい。



2 固定用ロックバーを上にあげ固定用ロックに引っかけて下さい。



3 左右の固定用ロックが確実ににかかっているか確認して下さい。

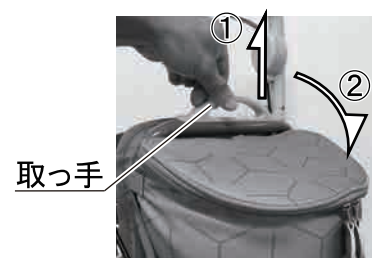


※ブレーキワイヤーなどが引っかかり広がらない場合がありますので注意して下さい。

4 座面を出します。



①矢印の方向へ、取っ手を上げ、
②矢印の方向へ倒して下さい。



取っ手

座面

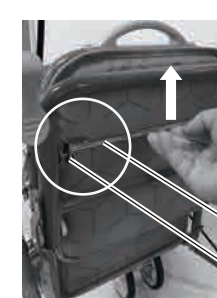
車体の折りたたみ方

1 座面を折りたたむときは、座面を矢印の方向に上げます。



固定ピン

固定用フック



固定用ロックバー

固定用ロック



ハンドル

3 固定用ロックバーを上にあげロックを解除してハンドルを下げて下さい。

⚠ 注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行って下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用して下さい。

ハンドル高さの調節方法



● 左右のハンドル後方の高さ調節レバーを押し、ハンドルをスライドさせて高さを調節して下さい。

● 高さ調節は3段階です。

● 必ず左右の高さを合わせて下さい。

※ 高さ調節レバーが入りにくい場合は、再度ハンドルを上下にスライドさせて下さい。
固定されていない状態で製品を使用すると、転倒・破損の恐れがあり危険です。

高さ調節レバー

⚠ 注意

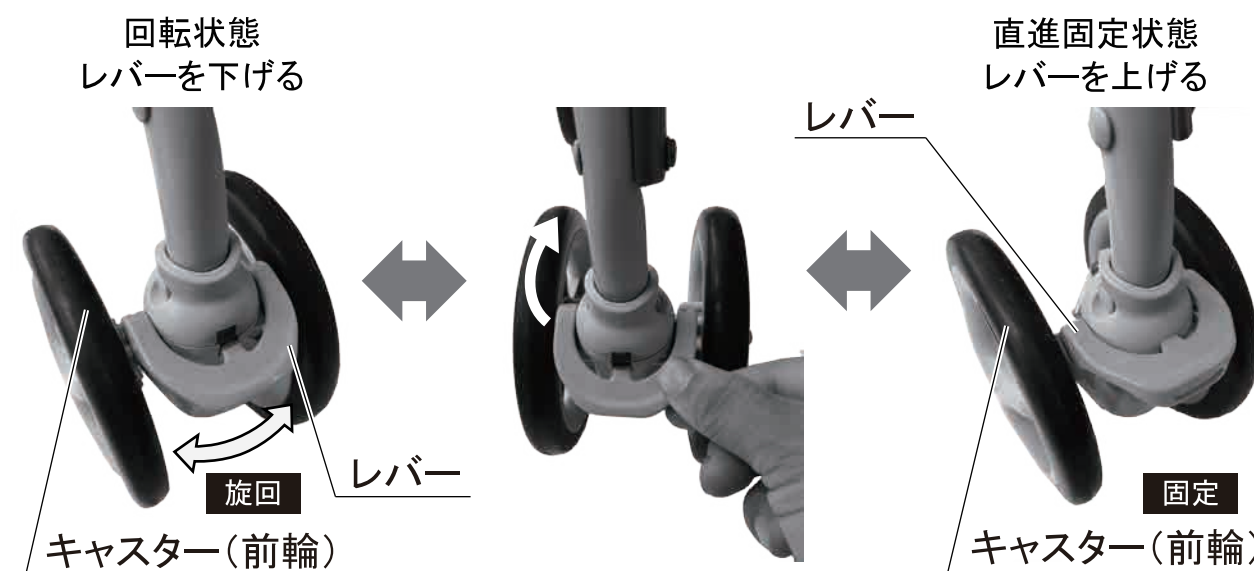
- ハンドルが確実に固定されていることを確認して下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。
- ハンドル高さを調節した後は必ずブレーキの動作確認を行って下さい。
- ハンドル高さ調節レバーは無理やり引っ張らないで下さい。破損の原因となります。

キャスターの使用法

● キャスター(前輪)の動きを利用者のお好みにあわせて2段階で設定ができます。

● レバーを上か下に設定してください。設定はキャスター(前輪)をまっすぐ前に向けた状態で行って下さい。

● レバーを下げると小回りの利く回転状態になり、レバーを上げると直進固定状態になります。



⚠ 注意

- 左右のレバーが同じ位置であることを確認して下さい。
- 指などをはさまないように注意して下さい。